
メリコと子猫

えりまき ねう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

メリ亜と半猫

【著者名】

えりまき ねう

【あらすじ】

ある動物園で暮らしている「ココラ」のちょっとびり切ない物語。

(前書き)

実話です。

前に見た動物園のドキュメンタリー番組が余りにも衝撃的だったの
で、思い出しながら書いてみました。

ゴリラの名前は残念ながら思い出せなかつたので、付けさせて頂き
ました。

ある動物園に、メリコとこうメスの「ココラ」がいました。

メリコには赤ちゃんが居たのですが、生まれて少しして死んでしました。

それ以来、メリコはすっかり元気をなくしてしまいました。

飼育員のおじさんは、メリコのやの様子を見ていい事を思いつきました。

メリコに子猫を『え』る事にしたのです。

メリコは子猫を『え』られると、ちゃんと世話をしてあげ、そしてだんだん元気になつて行きました。

飼育員のおじさんは、メリコに子猫を『え』て良かつたと思いました。メリコは子猫を世話している「ココラ」として、動物園でも人気が出できました。

観客達は子猫の世話をするメリコを見て、とてもやさしい気持ちになりました。

メリコも子猫もとても楽しそうに見えました。

何日か経つたある日、子猫の様子はいつもと違つていました。
元気がなくなり余り動かなくなりました。

メリコは子猫の事が心配でなりません、メリコは子猫の母親のつもりになつていたのです。

メリコは子猫をやさしくだっこして、寒くない様にあつためてあげていました。

すると、子猫はメリコに小さな声で鳴きました。

メリコは毎日猫が元気になる様に、ミルクをあげたりあつためてあげたりしていました。

でも、子猫は元気になる事はなく死んでしました。

メリコは子猫の亡骸を離さうとしませんでした。死んでしまった子猫にミルクをあげようとしたり、あつためてあげたりを続けたのです。

飼育員のおじさんはメリコの様子を見て、とても心を痛めましたが、子猫をずっとそのままにしておく訳にはいきません。メリコから子猫の亡骸を取上げる事にしました。

飼育員のおじさんはメリコの側へ行くと、メリコは子猫をそっと飼育員のおじさんに差し出しました。

飼育員のおじさんは、メリコがまた元気をなくしてしまったのではないか心配でしたが、

メリコは前程は落ち込でない様に見えたので少し安心しました。

それでも飼育員のおじさんは、その日メリコの様子を何度も何度も見にきました。

メリコはやつぱり普段と余り変わらない様子だったので、また少し安心しました。

やがて空は暗くなり、動物園も閉園の時間を迎えるとメリコも寝室へ移されます。

飼育員のおじさんはメリコにおやすみを言つと、飼育員の控え室に戻つていきました。

辺りに誰もいなくなり、一人きりになつたメリコは少しすると体を少し動かしました。

その後、とてもとても大きな声を出して泣きました。

(後書き)

悲しくて涙を流すのは人間だけだと言われますが、ゴリラもちゃんと泣くのですね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0437n/>

メリコと子猫

2010年10月9日01時52分発行